



〈会員の窓 11〉

流域の行政境界変更と連帯感

第三代*会長 海老瀬 潜一



私は京都市北区(山城国)で生まれたが、戦後の食糧不足で父祖の地の上桂川支流(丹波国)の川傍で育ち、堤防決壊で床下を濁水が流れる経験もした。維新勤王隊の地で、今は京都市右京区である。皮肉にも、かつて同じ町内の久多・堰源(広河原：大堰川(上桂川)の源流域)地区はもっと早くに京都市左京区へ編入され、下流の神吉地区は八木町(今の南丹市)に編入された。それぞれ交通の便(道路事情)により生活圏が変わったからである。上桂川と由良川の水源は同じ三国岳で、上桂川は日本海と太平洋の分水嶺を挟んで同じ郡内であった美山町(今は南丹市)の由良川流域と接する。両川とも東から西に流れ、その後それぞれ南と北に向きを変える。大量の物資輸送にはこれらの川が利用された。上桂川流域は京の造営の木材供給地で、筏で流れ着く先の同じ右京区の嵐山嵯峨地区は昔、材木屋が多かった。

上桂川流域の周山から徒歩で京に上るには、峠を越えて小野郷・中川(京都市北区で清滝川上流)から杉坂・京見峠を経て長坂口(京都市北区)へ出るのが早道であった。京都市と小浜市を結ぶ国道 162 号のように高雄(京都市北区で清滝川下流)を通らなかった。ところが、モーターレーゼーションは生活圏をがらっと変えてしまった。かつての国鉄計画線の路線には国鉄バスが走った。夏季に京都駅から小浜駅まで直通の国鉄バスが走る時期もあったが、近頃の土休日の 162 号は海水浴や魚釣りのマイカーで渋滞が起きる。民営化後は案の定、過疎路線が廃止され、自治体ごとに連絡バスが走る。積雪や凍結もある 162 号には先に笠トンネルができて、狭い道の中川地区はバイパストンネルで通過でき、栗尾トンネルがこの 12 月に開通する。時間短縮され、また一段と便利な車社会となるのである。

「川から道へ」の世の流れで、上下流の流域としての連帯感はますます薄れゆくように感じる。さらに過疎が追い打ちをかける。洪水や水質汚濁では上流は下流を、下流は上流を思いやるが、この機会も減ったかと思う。これを打開するには、地道な活動の広がりが必要であろうが。さて、どうする。

*2001~2002年度 (摂南大学理工学部都市環境工学科教授、水質動態解析、水環境リスク評価)

イベント案内

近畿水環境交流会 in 由良川・福知山

淀川愛好会「夏のイベント」を下記のように開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

日時：7月27日(土)・28日(日) 会場：福知山市厚生会館(1日目) 由良川河川敷(2日目)

天若湖アートプロジェクト

恒例の天若湖アートプロジェクトが開催されます。奮ってご参加ください。

日時：8月3日(土)・4日(日) 会場：日吉ダム周辺

(詳細は3、4ページをご覧ください)

イベント報告

城北川フェスティバル

3月31日(日)に大阪市城東区鯉江小学校付近の城北川にて、城北川フェスティバルに参加しました。例年と同じくドラゴンボートと共に乗船体験を行いました。今回は例年に比べ乗船者が多く、8回もEボート運航しました。天候にも恵まれ、スタッフ、参加者ともに楽しい時間を過ごすことができました。Eボート、ドラゴンボート乗船共に大盛況でした。



城北川でドラゴンボートと
並んで運航するEボート

「大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験」 淀川愛好会 春のイベント2013

4月27日(土)に上記のイベントが、おお川水辺クラブ、淀川管内河川レンジャー、近畿子どもの水辺ネットワークとの共催で行われ、約200名もの参加がありました。大川(源八橋～銀橋)周辺の清掃活動を行った後、「大阪ふれあいの水辺」で記念撮影をしてから、生物調査とEボートの乗船体験を行いました。今年も多くの方に参加してもらい、楽しいひとときを過ごしました。



帝国ホテル前での参加団体
の方々の記念撮影

寝屋川流域ネットワーク懇談会

5月18日(土)に寝屋川流域ネットワーク懇談会が行われました。

プログラムは二部構成になっており、午前中には寝屋川せせらぎ公園や幸町公園、打上川治水緑地地下流整備箇所の見学を行いました。点野の流域センターでは、行政の動向を大阪府河川室の方から、点野地区の河川公園整備計画を河川レンジャーの方から説明して頂き、また参加団体の活動報告も行いました。摂南大学で昼食を取ったあと、午後からは寝屋川北部地下河川工事現場と寝屋川治水緑地を見学しました。地下河川工事現場では実際に立坑を下り、地下トンネルも見学させて頂きました。寝屋川治水緑地では、職員の方に設備などの説明をして頂き、見学後は集合写真を撮影しました。最後は全員で野崎観音を参拝し、JR野崎駅で解散しました。今回の懇談会では見学が多く、実際に自分の目で見ることによって資料で読んでいたことをより深く学ぶことができました。



地下河川工事現場の見学

大和川市民ネットワーク第6回総会&奈良公園～東大寺ウォーク

5月25日(土)に奈良県文化会館多目的室で大和川市民ネットワーク第6回総会を開催し、アフター企画として奈良公園を谷幸三さん(晴れの国野生生物研究会会長)の案内で見学会を行い、約20名の参加がありました。まず奈良県庁の屋上を訪れ、そこから奈良盆地の素晴らしい景観が足下に広がっていました。特に東側と南側に広がる奈良公園の東大寺大仏殿、若草山、興福寺五重塔を間近に眺めることができました。次に緑ゆたかな奈良公園を訪れ、谷さんに鹿の生態、糞(ふん)の行方、虫や植物の豆知識などとてもためになる情報をおもしろおかしく説明していただきました。とても詳細な素晴らしい解説であったので参加者皆楽しい見学会となりました。



奈良公園での谷幸三さんの
説明

クリーンリバー寝屋川作戦・春

6月2日（日）にクリーンリバー寝屋川実行委員会主催の「クリーンリバー寝屋川作戦・春」に参加しました。全清掃箇所では参加者は400名を超える人が集まり、淀川愛好会は萱島信和町、清水町での清掃に参加しました。膨大な量の空き缶、空き瓶に加えて、一回り大きな不法投棄物も数多く見られたため、ゴミ用の土嚢袋はすぐに満杯になりました。そのため、川からゴミを引き上げる人も次々とくる、たくさんの土嚢袋を引き上げるのに大変でした。このような清掃活動が、川をきれいにすることだけではなく、ゴミの不法投棄の抑止となることを強く願います。



川から引き上げられた
ゴミで満杯の土嚢袋

ホタル観賞会

6月8日（土）に約60名で交野市南星台と関西創価学園にてホタル観賞をしました。まず、交野市南星台の自治会によるホタルの育成についての説明がありました。関西創価学園では、最初に飼育担当の生徒さんによるホタルの一生についての説明があり、次にホタルを観賞しました。そこでは例年に増して数百人の人が参加しており、光の乱舞を楽しんでおられました。南星台では昨年8月の豪雨によりビオトープが流されてしまい、ホタル観賞は断念しました。来年は、南星台でたくさんのホタルが見られることを楽しみにしています。



自治会の方による
ホタルの説明

今後のイベント詳細

淀川愛好会 夏のイベント 近畿水環境交流会 in 由良川・福知山

月日：2013年7月27日（土）・28日（日）

主催：「近畿水環境交流会in由良川・福知山」実行委員会
（近畿水の塾・淀川愛好会・由良川流域ネットワーク 他）

場所：1日目 福知山市厚生会館

2日目 由良川河川敷（音無瀬橋左岸下流）

参加費：無料（ただし、1日目 懇親会代3000円、2日目 昼食代800円）

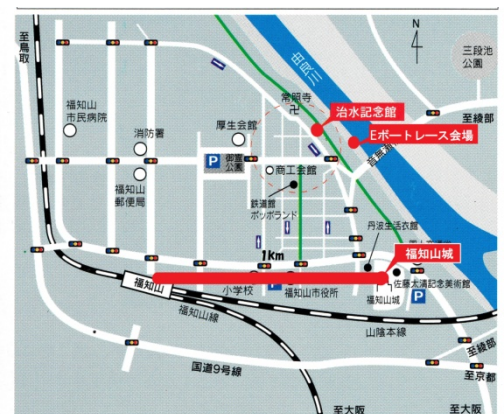
申込先：淀川愛好会事務局

参加申込〆切：7月15日（月）

内容：

- 1日目 9:30-10:00 受付（JR福知山駅北側ロータリー）
10:00-12:00 施設見学（福知山城、福知山市治水記念館）
13:30-14:00 受付（福知山市厚生会館・中会場）
14:00-17:00 シンポジウム
14:00- 歓迎あいさつ 福知山市長（予定）
14:10- 特別講演 「由良川の治水と環境」 講師：川合茂氏
「由良川の歴史と文化」 講師：崎山正人氏
15:40- 各団体による活動紹介
17:20- 閉会
18:00-20:00 懇親会 たかた荘

- 8:30- 受付（由良川音無瀬橋下流左岸河川敷）
9:00-9:30 河岸清掃
9:30-10:00 開会式
10:00-12:00 水辺利用の実践
12:00-13:00 昼食休憩
13:00-15:00 Eボートレース
15:00-15:30 閉会式、後片付け



（2日目雨天の場合は、午前中に周辺施設見学、午後天候が回復しない場合は、昼食後解散）

天若湖アートプロジェクト2013

8月3日(土)、4日(日)に京都府南丹市日吉町の日吉ダムで『天若湖アートプロジェクト2013』が開催されます。日吉ダムのダム湖、天若湖。そこには昔5つの集落がありました。このイベントでは、2日間湖面にあかりを浮かべその集落を再現させます。イベントの間ダム周辺では、この地の過去・現在・未来を考える展示やカフェ、Eボートの乗船体験、様々なアート企画もあります。開催時間等の詳細は天若湖アートプロジェクトのHPをご覧ください。一緒に流域の過去をさかのぼり、そして未来を考えてみませんか？ (HP アドレス <http://amawakaap.exblog.jp/>)

〈会員の窓 12〉

川との親しみ

正岡 聡

私は昨年4月から淀川愛好会の活動に参加し、その中でも寝屋川流域での活動に力を入れて取り組んできました。寝屋川市では、2001年から毎年寝屋川再生ワークショップが行われており、寝屋川市駅前、幸町公園、そして今年新たに川勝町での親水整備が実現し、それを祝し6月15日には記念式典が開かれます。このようにして、人々が水辺の近くへと足を運ぶことができる取り組みは、今年水辺での活動に取り組んできた私にとってはとても喜ばしいことです。私自身は淀川愛好会に参加するまで、川についてはおろか、水辺で遊ぶということが中々イメージできませんでした。それはやはり、子供の頃から身近にそういった水辺へと近づける場がなかったことが大きな要因であったと思われます。たしかに、水辺で遊ぶということは危険が伴うものかもしれませんが、水辺を知ること、その地域における特有の土地鑑を育むものであると私は考えます。この水がどこから来て、どこへ出ていくのか、そういった素朴な疑問が地元を知る上でとても大切なものであるわけです。そういった、自然から学べる場を子供の頃に得られなかったことは非常に残念ではありましたが、だからこそ今後そういった場を増やせるように活動していくことこそ、淀川愛好会で活動してきた自分にとっての責任であると考えます。

(摂南大学工学部 都市環境システム工学科 4回生)

会員募集・寄稿のお願い

淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」も随時募集しています。

編集後記

ハワイのマウナロア観測所において、5月10日、大気中の二酸化炭素の平均濃度が、観測史上最高の400.03 ppmになりました(ここでの観測値が世界の標準とされています)。

地球の環境は生きものにとってますます劣悪な状態になりつつある中で、関西創価学園では中・高クラブ活動の一環として、“蛍保存会”は、毎年源氏ボタルを育てて校内の人工小川に放しています(顧問:中学校校長杉本知彦先生)。その「蛍鑑賞の夕べ」には、天気が良かったせいか数百名もの市民が詰めかけました。暗闇の中で、木々に留まり、あるいは舞いながらの幻想的なホテルの点滅に皆さんそれぞれはどのような想いを馳せたのだろうか。

新年度から森川洋介君、正岡聡君(いずれも澤井研究室卒研生)らが編集に協力してくれています。新人記者としての彼らのこれからの成長に力強いご声援をお願いします。

編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局: 〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 澤井教授室内

TEL/FAX: 072-839-9124 携帯電話: 090-2196-9594 (澤井)

HP: <http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail: sawai@civ.setsunan.ac.jp (澤井) または 101068my@edu.setsunan.ac.jp (森川)